

第29回ユニオンジャンボリーを開催

8 働きがいの
経済成長も



「組合員の負託に一層応える組合」をめざし 次世代のユニオンリーダーが熱く討議!



生保労連では毎年、各組合の新任役員の方を主な対象に、組合活動に必要な知識の習得や参加者間の交流を目的として、「ユニオンジャンボリー」を開催しています。今年は9月30日に開催し、9組合から18名が参加しました。

「組合員の負託に一層応える労働組合をめざして」をテーマに、違う組合同士でグループに分かれ、組合の意義・役割や、さらなる役割発揮に向けて組合に求められること等について、熱心な討議が行われました。講師である

労働政策研究・研修機構の藤村理事長からも、様々な視点で参加者にアドバイスをいただきました。

その後、各グループから深く討議を重ねた内容の発表があり、参加者全員の挙手により最優秀チームを選出しました。最後



▲労働組合の意義・役割を語る
藤村理事長

グループ討議の様子



に、藤村理事長より「環境変化の中の労働組合の役割ー議論の中から新しいものが生まれるー」と題して、労使関係のあり方や労働組合の役割、より良い会社・職場づくりに向けたこれからの労使に期待すること等について講演をいただきました。参加者はグループ討議と講演を通じて労働組合の意義・役割について理解を深めるとともに、組合の枠を超えた交流を深めました。

討議内容発表



参加者の感想(抜粋)

- 労働組合の存在意義や、なぜ労働組合の必要性を感じてもらえないのか、これからどうすれば必要性を感じられるようになるのかを深掘りして考える機会をもてた。
- 労働組合の役割について、背景と課題、あるべき姿など理解を深めることができた。等